

平成30年度 事業報告書

(平成30年4月1日 ～ 平成31年3月31日)

1. 自立奨学支援事業

(1) 制度について

多くの子ども達が本財団の支援制度に期待している実態より、過去の実績並みの予算を確保し、定例枠 150 名に 2018 年度特別枠 50 名を加えた合計 200 名の支援とした。支援者を応募者数に合わせ、就職者と進学者を同一比率に選考支援した。

(2) 応募状況

9月作成の「未来のつばさ自立奨学支援制度」応募要項を全国の児童養護施設、児童相談所、社会福祉協議会等へ発送し同様に財団ホームページに掲載した。応募申請は11月より受付を開始し、締切を12月21日とした。応募者数は自立（就職）希望者が262名、奨学（進学）希望者が325名、障がい児50名、合計637名を受理した。応募者数は毎年記録を更新し支援率は31%となった。

2011年度から2018年度まで累計して応募者数は4344人、支援者数は1670人、支援率は38%となった。

(3) 審査体制

10月26日開催された選考委員会にて選出された審査委員による第1次審査は審査員を3チームに分け、申請者1人に3人の審査員の平均点を評価点とした。

【1次審査】

チーム	構成員	審査期間	メンバー
A	財団関係者	12月11日～1月21日	3名
B	協力員	1月7日～1月30日	4名
C	楽天生命ボランティア	1月8日～1月31日	23名

【2次審査】

審査日 : 平成31年2月4日

審査員 : 選考委員

(4) 選考結果

本年度は当初計画に2018年度特別枠（50名）、および「書き損じはがき」寄

付枠 2 名を加え、202 名を支援該当者とした。

支援区分	応募者数	支援者数	はがき枠	合計	支援率
自立（就職）	262 名	82 名	1 名	83 名	31%
奨学（進学）	325 名	102 名	1 名	103 名	31%
障がい児	50 名	16 名		16 名	32%
合計	637 名	200 名	2 名	202 名	31%

（5）アンケート調査報告書

2016 年度より実施している申請児童に対するアンケートでは、申請児童の現状、計画や不安なことなどのデータを集めることが出来た。今年度もアンケートを集計し、進路別、施設種別、男女別の割合をまとめてその結果を「応募者アンケート調査報告書」としてホームページに掲載した。

（6）「未来のつばさナビ」贈呈

2 年前より自立奨学支援制度の支援者を対象として贈呈を始めた「未来のつばさナビ」は好評を博し、今年度も 2017 年度支援者へ贈呈した。自立生活に役立つ情報を 32 ページの冊子にまとめたもので、9 月 25 日から対象者へ発送したほかに、今年度も引き続き財団ホームページに掲載した。

2. 団体向け支援事業

（1）事業の広報と推進

平成 30 年 2 月 19 日開催の諮問委員会にて実施要領を討議し、支援金額単位を 30 万円、支援件数を年間 20 件とし地域の少額な活動を対象とする特徴を出した。また、前期は当年事業、後期は当年事業または来年度事業とした。受付を 2 期（前期 4 月～5 月、後期 9 月～10 月）に分け受付を行った。この結果昨年と変わらず 13 件の支援を行った。

（2）選考（審査）

選考手順	審査責任者	審査方法
第 1 次（受付票）	事務局	実施要項規程の対象事業、申請条件の適正を確認し、所定の申請書関連書類の送付
第 2 次（審査票）	理事、監事	審査基準による審査で適合案件を全役員へ回送し、審査を仰ぐ
最終	理事会	役員審査により支援団体と支援金額の最終決議を行う。

(3) 支援状況

	No.	団体名	事業名または事業内容	交付金額
前期 229万 7720 円	1	子育て支援サークル 野の花ほっとスペース	虐待する親たちのための回復プログラムを活用した講座を開催する。	30万円
	2	NPO 法人 子ども自立支援スマイル	協力企業があつまり、それぞれ職業体験のブースを設けて、施設や里親家庭、一般の子どもたちを対象に、いろいろな職業を体験してもらう。	30万円
	3	児童養護施設一宮学園自立支援はじめのいっぽ後援会	成人式の晴れ着を諦めていた児童養護施設を退園した女の子たちのためのプロジェクト。晴れ着一式を安価でお借りし、着付け、式典出席、写真撮影、祝いの膳により自尊心を高める。	12万円
	4	一般社団法人 世界マザーサロン	児童養護施設の子どもたちを対象に料理教室を実施するため、担当講師を養成する。	30万円
	5	一般社団法人 慈有塾	訪問型の学習支援を訪問日数、対象学年の拡大をする。	30万円
	6	NPO 法人 ここからプロジェクト	社会的養護を考える映画上映・トークイベントを開催。会場では、児童養護施設に在籍する児童が関わり作成した絵本を販売し、その一部を施設へと寄付する。	11万9120円
	7	大阪府里親会岸和田支部 どんぐり会	新規登録里親を増やすため、里親家庭の写真を展示する写真展をメインにした里親広報イベントを開催する。	29万8600円
	8	一般社団法人 やまと災害ボランティアネットワーク	宮城県内の児童養護施設の子どもたちを対象に、石巻市網地島で自然体験を学ぶ事業を行う。地域活動へ引継ぎプロジェクトも行う。	30万円
	9	社会福祉法人 子供の町	音楽療法士による音楽療法「ミュージック・ボックス」を実施する。	26万円
後期 94万 円	10	SP ジャパン	ワンポイントの刺しゅうを施したスタイを乳児院に寄付するプロジェクト。	6万円
	11	NPO 法人 チームレスキュー	里親の下で暮らす子どもや経済的に困難な家庭環境にある子どもおよび一般家庭の子どもを対象に学習支援、また課	30万円

			外学習を実施する。	
12	「生」教育助産師 グループ OHANA		児童養護施設に暮らす子どもを対象とした「生」と「性」の相談活動、また体験活動を実施する。	28万円
13	一般社団法人 タウンスペース WAKWAK		児童養護施設に入所している子ども達を対象にした自然体験活動とその活動に参画するボランティアスタッフの研修を行う。	30万円

* No 1～9 事業内容は広報誌「未来のつばさ (Vol. 26)」へ掲載

3. 広報活動事業

(1) 広報誌「未来のつばさ」

夏号を7月に、冬号を12月に発行した。各号約3500冊を、全国の児童養護関連施設、里親会、社会福祉協議会、行政の児童養護関連部署、児童相談所、寄付者（個人・団体）、団体向け支援事業の過去1年の支援団体、財団役員等関係者へ送付した。

(2) メールマガジン「つばさニュース」

「つばさニュース」は、登録者150名を超えた。2016年8月12日より毎月発行し、メールマガジン読者の投稿やキャンペーン応募者が増え、少しずつ読者参加型となってきた。メルマガ案内チラシを自立奨学支援制度の提出書類、広報誌、寄附金領収書等に同封し広報をすすめた。

メルマガ登録者数

	日付	合計	キャンペーン応募者数	
		名	名	合計
第21回	4月13日	110	1	1
第22回	5月11日	110	1	2
第23回	6月8日	113		2
第24回	7月13日	119	1	3
第25回	8月10日	129		3
第26回	9月7日	132	1	4
第27回	10月12日	132	2	6
第28回	11月9日	136	2	8
第29回	12月7日	137	1	9
第30回	1月11日	147	3	12

第31回	2月8日	152	2	14
第32回	3月8日	153	2	16

(3) オレンジリボン配布

子ども虐待防止のシンボルマークであるオレンジリボンを作製しオレンジリボン運動を応援する試みを行った。今年度も引き続き領収証に同封し寄付者へ発送した。また、財団ホームページ上に「オレンジリボン運動サポーターコーナー」を開設し、オレンジリボンを応援しているスポーツ選手や著名な方の写真を掲載した。

(4) その他

今年度も引き続き増沢理事にご協力いただき、事業と寄付についてのご案内パンフレット2000部を、子どもの虹情報研修センターで今年度行われたすべての虐待対応研修にて配布していただき、口頭でも財団の支援活動を広報していただいた。そのほか、川崎市ポータルサイト「つながっとKAWASAKI」掲載、東京都北区NPOボランティアぷらご通信掲載、東京都社会福祉協議会サイト内助成金情報掲載、助成財団センターデータベース更新、CANPAN(カンパン) FIELDS (公益活動団体データベース)更新、東京ボランティア市民活動センター掲載更新、杜の伝言板ゆるる掲載更新等、財団事業の広報活動を行った。特に団体向け(プロジェクト)支援事業について、上記各掲載により問い合わせが増え、認知度が上がってきている。

4. 組織運営

(1) 各種委員会開催状況

開催日	委員会名称	審議事項
5月14日	会計監査会	平成29年度事業及び決算報告の監査
5月21日	第1回理事会	平成29年度事業報告書と決算報告(案)の承認
6月11日	定時評議員会	平成29年度事業報告書と決算報告の承認
6月20日	第2回理事会	団体向け支援事業2018前期最終決定の承認
10月26日	第1回選考委員会	① 2018年度自立奨学支援制度の確認 ② 2018年度選考スケジュール確認 ③ 2018年度審査会設置承認
11月24日	第3回理事会	① 団体向け支援事業2018後期最終決定の承認 ② 選考委員交替に伴う新任選考委員の選出
2月4日	第2回選考委員会	2018年度自立奨学支援応募の最終選考
2月12日	第4回理事会	2018年度自立奨学支援、最終選考の承認

2月18日	諮問委員会（事業計画・運営委員会）	平成31年度事業計画及び予算について
3月13日	第5回理事会	平成31年度事業計画及び収支予算の承認

* 審議事項は、主要な議案を記載した。

（2）ボランティア制度の確立

本年度も自立奨学支援制度の審査委員は多くのボランティアの尽力に助けられた。Bチームは延べ55名、Cチームは23名の協力をいただいた。

また、毎年行われている「書き損じはがき」収集活動も楽天命保険株式会社の代理店の皆様を中心に45万円以上の寄付金となり、自立奨学支援の貴重な財源となった。今後も多くの方々へ呼びかけ、一般人参加の財団運営を目標としたい。

平成 30 年度 事業報告の附属明細書

平成 30 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

公益財団法人 楽天 未来のつばさ